

2019年10月30日

各位

会社名 エーザイ株式会社
代表者名 代表執行役 CEO 内藤 晴夫
(コード番号 4523 東証第1部)
問合せ先
執行役 コーポレートアフェアーズ担当
赤名 正臣
(TEL 03-3817-5120)

(訂正)「2019年度(2020年3月期)第2四半期決算 参考資料」の一部訂正について

2019年10月30日に発表いたしました「2019年度(2020年3月期)第2四半期決算 参考資料」に一部誤植がありましたので、下記のとおり訂正いたします。

記

1. 訂正内容(下線部は訂正箇所を示します)

「2019年度(2020年3月期)第2四半期決算 参考資料」の13. 主要開発品(20ページ)

(2)がん 開発品コード:E7080 一般名:レンバチニブ 製品名:レンビマ/Kisplyx

【訂正前】

◎	進行性子宮内膜がん・セカンドライン(効能追加) (抗PD-1抗体ペムプロリズマブとの併用療法)	111 試験	米国承認 (2019年月)	Merck & Co., Inc., Kenilworth, N.J., U.S.A. (米メルク社)と共同開発	経口剤
---	--	--------	------------------	--	-----

【訂正後】

◎	進行性子宮内膜がん・セカンドライン(効能追加) (抗PD-1抗体ペムプロリズマブとの併用療法)	111 試験	米国承認 (2019年9月)	Merck & Co., Inc., Kenilworth, N.J., U.S.A. (米メルク社)と共同開発	経口剤
---	--	--------	-------------------	--	-----

2. 訂正理由

「2019年度(2020年3月期)第2四半期決算 参考資料」発表後に、記載内容の一部に誤りがあることが判明しましたので訂正いたします。

以上



2019年度（2020年3月期）
第2四半期決算

参考資料

2019年10月30日
エーザイ株式会社

お問い合わせ

PR部： TEL 03-3817-5120

IR部： TEL 03-3817-3016

<https://www.eisai.co.jp/>

【将来予想に関する事項と事業等のリスク】

本発表において提供される資料ならびに情報は、現在における予想、目標、評価、見通し、リスクを伴う想定などの不確実性に基づくものを含んでいます。従って、さまざまな要因の変化により、将来予想などが実際の結果と大きく乖離する可能性があります。リスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった日本および国際的な経済状況が含まれています。

当社グループの連結業績を大幅に変動させる、あるいは投資判断に重要な影響を及ぼす可能性のあるリスクは、次のとおりです。なお、これらのリスクは、本資料作成日現在において判断、予想したものです。

製品の安全性および品質に関するリスク、副作用発現のリスク、訴訟に関するリスク、法規制に関するリスク、知的財産に関するリスク、新薬開発の不確実性に関するリスク、医療費抑制策に関するリスク、ジェネリック医薬品に関するリスク、海外展開におけるリスク、他社とのパートナーシップに関するリスク、企業買収や製品買収等に関するリスク、外部への業務委託に関するリスク、ITセキュリティおよび情報管理に関するリスク、財務報告に係る内部統制の整備等に関するリスク、金融市況および為替の動向に関するリスク、工場の閉鎖または操業停止のリスク、環境に関するリスク、ならびに災害等に関するリスク

目次

1. 連結損益計算書	1
2. セグメント情報	2
3. 報告セグメント別情報	3
4. 主力品売上収益	7
5. セグメント別売上収益見通し	9
6. 連結包括利益計算書	10
7. 連結キャッシュ・フロー計算書	11
8. 資本的支出及び減価償却費の状況	12
9. 連結財政状態計算書	12
10. 連結四半期業績の推移	14
11. 株式の状況	17
12. 従業員数	17
13. 主要開発品	18

為替レート

		米国 (米ドル/円)	欧州 (ユーロ/円)	英国 (ポンド/円)	中国 (人民元/円)
2018年度 第2四半期	期中平均レート	110.26	129.84	146.91	16.74
	期末日レート	113.57	132.14	148.53	16.50
2018年度 通期	期中平均レート	110.90	128.40	145.67	16.53
	期末日レート	110.99	124.56	144.98	16.47
2019年度 第2四半期	期中平均レート	108.62	121.41	136.73	15.68
	期末日レート	107.92	118.02	132.69	15.13
2019年度	第3～4四半期予想レート	105.00	117.00	130.00	14.60

- 前回発表した通期の業績予想を修正しています。修正箇所には下線を付しています。
- 当社の連結財務諸表は国際会計基準（IFRS）にて開示しています。
- 当社グループは、セグメントを医薬品事業とその他事業に区分しており、医薬品事業を構成する日本、アメリカス（北米）、中国、EMEA（欧州、中東、アフリカ、オセアニア）、アジア・ラテンアメリカ（韓国、台湾、香港、インド、アセアン、中南米等）、一般用医薬品等（日本）の6つの事業セグメントを報告セグメントとしています。当連結会計年度において、日本医薬品事業から一般用医薬品等事業を分離し、新たな報告セグメントとしています。前年同期のセグメント情報は当該変更を反映しています。
- 当資料中の数字は、四捨五入で表示しています。

1. 連結損益計算書

	2018年度				2019年度				(億円、%)	
	2Q累計	売上比	通期	売上比	2Q累計	売上比	前同比	増減額	2019年度 通期予想	
									今回修正	前回発表
売上収益	3,101	100.0	6,428	100.0	2,993	100.0	96.5	△ 109	6,800	6,800
売上原価	920	29.7	1,845	28.7	832	27.8	90.4	△ 88	1,700	1,800
売上総利益	2,181	70.3	4,583	71.3	2,161	72.2	99.1	△ 20	5,100	5,000
販売費及び一般管理費	1,048	33.8	2,282	35.5	1,205	40.3	115.0	157	2,560	2,450
販売費	370	11.9	843	13.1	504	16.9	136.4	135	—	—
人件費	411	13.3	872	13.6	419	14.0	101.9	8	—	—
管理費他	267	8.6	567	8.8	282	9.4	105.5	15	—	—
研究開発費	650	21.0	1,448	22.5	680	22.7	104.6	30	1,480	1,545
その他の収益	10	0.3	26	0.4	53	1.8	530.9	43	40	25
その他の費用	10	0.3	17	0.3	9	0.3	93.9	△ 1	—	—
営業利益	484	15.6	862	13.4	320	10.7	66.2	△ 164	1,100	1,030
金融収益	23	0.7	49	0.8	23	0.8	101.0	0	—	—
金融費用	10	0.3	16	0.2	6	0.2	58.6	△ 4	—	—
税引前四半期（当期）利益	497	16.0	895	13.9	338	11.3	68.0	△ 159	1,120	1,045
法人所得税	133	4.3	230	3.6	64	2.1	48.0	△ 69	—	—
四半期（当期）利益	363	11.7	665	10.3	274	9.1	75.3	△ 90	820	725
四半期（当期）利益の帰属										
親会社所有者	327	10.5	634	9.9	270	9.0	82.7	△ 57	816	720
非支配持分	37	1.2	31	0.5	4	0.1	10.0	△ 33	—	—

四半期（当期）包括利益	613	19.8	795	12.4	47	1.6	7.7	△ 566
-------------	-----	------	-----	------	----	-----	-----	-------

EPS（円）	114.0	221.3	94.2	284.8	251.3
DPS（円）	70.0	150.0	80.0	160.0	160.0
ROE（%）	—	10.4	—	13.2	11.2
DOE（%）	—	7.0	—	7.4	7.1

・通期予想の修正箇所には下線を付しています。

・通期予想のその他の収益は、その他の費用を控除して表示しています。

・EPS：基本的1株当たり当期利益、DPS：1株当たり配当金、ROE：親会社所有者帰属持分当期利益率、DOE：親会社所有者帰属持分配当率

<コメント>

■売上収益	<ul style="list-style-type: none"> 抗がん剤「レンビマ」が引き続き大幅に伸長（当期 505億円、前年同期 245億円） 前年同期に米メルク社からのマイルストーンペイメント（222億円）および一時的なライセンス収入を計上
■販売費及び一般管理費	<ul style="list-style-type: none"> 米メルク社へ支払う「レンビマ」の折半利益（当期 228億円、前年同期 79億円）を費用計上
■研究開発費	<ul style="list-style-type: none"> 次世代アルツハイマー病疾患修飾剤「BAN2401」および「レンビマ」を中心に積極的な資源投入 パートナーシップモデルを活用した費用負担の抑制（自社主要品に関するパートナー負担額：当期 363億円、前年同期 243億円）
■その他の収益	<ul style="list-style-type: none"> エルメッド エーザイの譲渡益 44億円
■為替による影響額	<ul style="list-style-type: none"> 売上収益：△68.3億円、営業利益：△20.9億円
■為替感応度 （1円の円高に対しての年間影響額）	<ul style="list-style-type: none"> 売上収益：米ドル △11.4億円、ユーロ △3.1億円、英ポンド △0.5億円、人民元 △57.0億円 営業利益：米ドル +5.0億円、ユーロ △1.9億円、英ポンド+0.9億円、人民元 △37.9億円

2. セグメント情報

1) セグメント売上収益

(億円、%)

	2018年度		2019年度		
	2Q累計	通期	2Q累計	前同比	為替影響除く 前期比
医薬品事業（報告セグメント）計	2,824	5,637	2,916	103.3	105.7
日本 医薬品事業	1,454	2,768	1,258	86.5	86.5
アメリカス 医薬品事業	428	979	579	135.3	137.3
米国	422	967	573	135.6	137.6
中国 医薬品事業	318	663	447	140.3	149.7
EMEA 医薬品事業	254	498	261	102.7	109.5
アジア・ラテンアメリカ 医薬品事業	247	487	240	97.5	102.0
一般用医薬品等	123	243	131	106.8	106.8
その他事業	277	791	76	27.5	27.8
連結売上収益	3,101	6,428	2,993	96.5	98.7

* 外部顧客に対する売上収益を示しています。

2) セグメント利益

(億円、%)

	2018年度		2019年度		
	2Q累計	通期	2Q累計	前同比	為替影響除く 前期比
医薬品事業（報告セグメント）計	1,081	2,105	1,266	117.1	120.5
日本 医薬品事業	573	1,002	503	87.8	87.8
アメリカス 医薬品事業	169	463	306	181.1	184.4
中国 医薬品事業	115	244	215	186.7	204.3
EMEA 医薬品事業	112	197	117	105.0	110.9
アジア・ラテンアメリカ 医薬品事業	85	153	90	106.0	110.7
一般用医薬品等	27	45	34	125.1	125.1
その他事業	234	708	26	10.9	11.0
研究開発費	△650	△1,448	△680	104.6	107.1
親会社の本社管理費等*	△182	△504	△335	184.6	184.5
子会社売却益	—	—	44	—	—
連結営業利益	484	862	320	66.2	70.5

* パートナーとの戦略的提携に伴う利益および費用の折半金額を含めています。

3. 報告セグメント別情報

1) 日本 医薬品事業

(億円、%)

	2018年度		2019年度	
	2Q累計	通期	2Q累計	前同比
売上収益	1,454	2,768	1,258	86.5
医療用医薬品	1,332	2,516	1,258	94.5
ジェネリック医薬品	122	252	—	—
セグメント利益	573	1,002	503	87.8
日本 医療用医薬品 主力品売上収益				
ヒト型抗ヒトTNF α モノクローナル抗体 ヒュミラ	239	469	253	105.7
疼痛治療剤（神経障害性疼痛・線維筋痛症） リリカ	138	283	139	100.7
アルツハイマー型、レビー小体型認知症治療剤 アリセプト	98	179	74	76.3
末梢性神経障害治療剤 メチコパール	78	150	74	94.9
抗がん剤 レンビマ	43	100	69	159.1
不眠症治療剤 ルネスタ	55	112	63	114.3
プロトンポンプ阻害剤 パリエット*	68	129	58	85.1
抗がん剤 ハラヴェン	49	94	50	102.1
抗がん剤 トリアキシン	37	72	41	113.3
成分栄養剤 エレンタール*	33	64	33	100.9
抗リウマチ剤 ケアラム	20	44	32	158.7
抗てんかん剤 フィコンパ	14	30	19	138.8

- ・パリエットには、ヘリコバクター・ピロリ除菌用3剤組み合わせパック製剤「ラベキュアパック400/800」および「ラベファインパック」の売上収益を含めています。
- ・リリカの売上収益は共同販促収入です。
- ・2019年4月にジェネリック医薬品事業（エルメッド エーザイ）を譲渡しました。2018年度のジェネリック医薬品はエルメッドエーザイの売上収益です。
- * EAファーマの取り扱い製品です。

2) アメリカス 医薬品事業 (北米)

(億円、%)

	2018年度		2019年度	
	2Q累計	通期	2Q累計	前同比
売上収益	428	979	579	135.3 <137.3>
米国	422	967	573	135.6 <137.6>
セグメント利益	169	463	306	181.1 <184.4>
アメリカス 主力品売上収益				
抗がん剤 レンピマ	144	375	284	196.7 <199.7>
米国	143 (130)	372 (336)	282 (259)	197.2 <200.2>
(百万米ドル)				
抗てんかん剤 Banzel	85	175	115	135.6 <137.7>
米国	84 (76)	173 (156)	114 (105)	136.0 <138.1>
(百万米ドル)				
抗がん剤 ハラヴェン	81	164	75	92.8 <94.2>
米国	79 (72)	161 (145)	73 (68)	92.9 <94.3>
(百万米ドル)				
抗てんかん剤 Fycompa	45	93	60	134.5 <136.6>
米国	43 (39)	90 (81)	58 (53)	135.1 <137.2>
(百万米ドル)				
プロトンポンプ阻害剤 アシフェックス	22	48	20	93.3 <94.7>
(百万米ドル)	(20)	(43)	(19)	
肥満症治療剤 Belvia	19	39	20	104.4 <105.9>
(百万米ドル)	(17)	(35)	(18)	

- ・前同士の<>内は為替の影響を除いた数値を示しています。
- ・アシフェックス、Belviaの上記売上収益は、全額が米国における売上収益です。

3) 中国 医薬品事業

(億円、%)

	2018年度		2019年度	
	2Q累計	通期	2Q累計	前同比
売上収益	318	663	447	140.3 <149.7>
セグメント利益	115	244	215	186.7 <204.3>
中国 主力品売上収益				
末梢性神経障害治療剤 メチコパール (百万人民元)	104 (624)	200 (1,208)	125 (795)	119.5 <127.6>
抗がん剤 レンビマ (百万人民元)	— (—)	31 (189)	71 (454)	— <—>
アルツハイマー型認知症治療剤 アリセプト (百万人民元)	49 (290)	93 (565)	59 (376)	121.2 <129.4>
肝臓疾患用剤・アレルギー用薬 強力ネオミノファーゲンシー／グリチロン錠 (百万人民元)	51 (307)	107 (649)	54 (343)	104.4 <111.5>
プロトンポンプ阻害剤 パリエット (百万人民元)	29 (173)	57 (348)	35 (221)	120.1 <128.2>

・前同士の<>内は為替の影響を除いた数値を示しています。

4) EMEA 医薬品事業 (欧州、中東、アフリカ、オセアニア)

(億円、%)

	2018年度		2019年度	
	2Q累計	通期	2Q累計	前同比
売上収益	254	498	261	102.7 <109.5>
セグメント利益	112	197	117	105.0 <110.9>
EMEA 主力品売上収益				
抗がん剤 ハラヴェン	61	127	71	115.7 <123.1>
抗がん剤 レンビマ／Kispplx	37	80	58	156.4 <166.8>
抗てんかん剤 Fycompa	30	61	34	114.1 <122.0>
抗てんかん剤 Zebinix	28	58	31	112.6 <120.6>
抗てんかん剤 ソネグラン	20	41	20	99.6 <106.6>
抗てんかん剤 イノベロン	11	24	12	103.6 <111.0>

・前同士の<>内は為替の影響を除いた数値を示しています。

5) アジア・ラテンアメリカ 医薬品事業

(億円、%)

	2018年度		2019年度	
	2Q累計	通期	2Q累計	前同比
売上収益	247	487	240	97.5 <102.0>
セグメント利益	85	153	90	106.0 <110.7>
アジア・ラテンアメリカ 主力品売上収益				
アルツハイマー型、レビー小体型認知症治療剤 アリセプト	61	118	55	90.5 <96.4>
ヒト型抗ヒトTNF α モノクローナル抗体 ヒュミラ	66	130	54	81.8 <88.3>
抗がん剤 レンビマ	20	40	23	118.1 <122.2>
プロトンポンプ阻害剤 バリエット	19	39	21	109.2 <111.9>
末梢性神経障害治療剤 メチコパール	18	32	15	79.5 <80.6>
抗がん剤 ハラヴェン	13	27	10	76.6 <78.5>
抗てんかん剤 Fycompa	4	9	5	125.3 <131.3>

- ・前同比の< >内は為替の影響を除いた数値を示しています。
- ・アリセプトのレビー小体型認知症の適応は日本、フィリピン、タイです。

6) 一般用医薬品等

(億円、%)

	2018年度		2019年度	
	2Q累計	通期	2Q累計	前同比
売上収益	123	243	131	106.8
セグメント利益	27	45	34	125.1
一般用医薬品等 主力品売上収益				
ビタミンB2主剤「チョコラBBプラス」等 チョコラBBグループ	80	153	85	107.0

4. 主力品売上収益

1) ニューロロジー領域製品

(億円、%)

	2018年度		2019年度	
	2Q累計	通期	2Q累計	前同比
ニューロロジー領域製品計	889	1,774	959	107.9 <111.0>
メチコパール（末梢性神経障害治療剤）	205	393	217	105.7 <109.9>
日本	78	150	74	94.9
中国	104	200	125	119.5 <127.6>
アジア・ラテンアメリカ	18	32	15	79.5 <80.6>
アリセプト（アルツハイマー型、レビー小体型認知症治療剤）	213	402	192	90.0 <93.6>
日本	98	179	74	76.3
中国	49	93	59	121.2 <129.4>
アジア・ラテンアメリカ	61	118	55	90.5 <96.4>
リリカ（疼痛治療剤（神経障害性疼痛・線維筋痛症））・日本	138	283	139	100.7
イノベロン/Banzel（抗てんかん剤）	99	204	130	131.3 <134.0>
アメリカス	85	175	115	135.6 <137.7>
EMEA	11	24	12	103.6 <111.0>
フィコンパ/Fycompa（抗てんかん剤）	92	193	118	128.2 <132.0>
日本	14	30	19	138.8
アメリカス	45	93	60	134.5 <136.6>
EMEA	30	61	34	114.1 <122.0>
アジア・ラテンアメリカ	4	9	5	125.3 <131.3>
ルネスタ（不眠症治療剤）・日本	55	112	63	114.3
Belvia（肥満症治療剤）	21	56	32	153.6 <155.4>
米国	19	39	20	104.4 <105.9>
Zebinix（抗てんかん剤）・EMEA	28	58	31	112.6 <120.6>
ソネグラン（抗てんかん剤）	23	46	23	98.7 <105.4>
EMEA	20	41	20	99.6 <106.6>
その他	14	27	14	98.7

・前同比の<>内は為替の影響を除いた数値を示しています。

・アリセプトのレビー小体型認知症の適応は日本、フィリピン、タイです。

・リリカの売上収益は共同販促収入です。

2) オンコロジー領域製品

(億円、%)

	2018年度		2019年度	
	2Q累計	通期	2Q累計	前同比
オンコロジー領域製品計	547	1,209	786	143.6 <147.5>
レンピマ/Kisplyx (抗がん剤)	245	626	505	206.6 <212.3>
日本	43	100	69	159.1
アメリカス	144	375	284	196.7 <199.7>
中国	—	31	71	— <—>
EMEA	37	80	58	156.4 <166.8>
アジア・ラテンアメリカ	20	40	23	118.1 <122.2>
ハラヴェン (抗がん剤)	204	413	206	100.9 <103.8>
日本	49	94	50	102.1
アメリカス	81	164	75	92.8 <94.2>
EMEA	61	127	71	115.7 <123.1>
アジア・ラテンアメリカ	13	27	10	76.6 <78.5>
トレアキシシン/シンベンダ (抗がん剤)	38	75	43	113.0 <113.4>
その他	60	96	31	51.7 <54.6>

・前同比の< >内は為替の影響を除いた数値を示しています。

5. セグメント別売上収益見通し（2019年度）

（億円）

	2018年度		2019年度		
	2Q累計	通期	2Q累計	今回修正	前回発表
日本	1,454	2,768	1,258	2,480	2,480
医療用医薬品	1,332	2,516	1,258	2,480	2,480
ヒト型抗ヒトTNF α モノクローナル抗体 ヒュミラ	239	469	253	490	490
アルツハイマー型、レビー小体型認知症治療剤 アリセプト	98	179	74	140	140
抗がん剤 レンビマ	43	100	69	130	130
不眠症治療剤 ルネスタ	55	112	63	130	130
末梢性神経障害治療剤 メチコパール	78	150	74	130	130
プロトンポンプ阻害剤 パリエット*	68	129	58	110	110
抗がん剤 ハラヴェン	49	94	50	100	100
抗がん剤 トシアキシシ	37	72	41	82	82
抗リウマチ剤 ケアラム	20	44	32	70	70
成分栄養剤 エレンタール*	33	64	33	65	65
ジェネリック医薬品	122	252	—	—	—
アメリカス	428	979	579	1,350	1,350
米国	422	967	573	1,320	1,320
中国	318	663	447	700	700
EMEA	254	498	261	510	510
アジア・ラテンアメリカ	247	487	240	490	490
一般用医薬品等	123	243	131	240	240
ビタミンB2主剤「チョコラBBプラス」等 チョコラBBグループ	80	153	85	160	160
その他	277	791	76	1,030	1,030
連結売上収益	3,101	6,428	2,993	6,800	6,800
主要品目グローバル売上収益					
レンビマ/Kispilyx	245	626	505	1,190	1,160
日本	43	100	69	130	130
アメリカス	144	375	284	780	780
中国	—	31	71	120	90
EMEA	37	80	58	120	120
アジア・ラテンアメリカ	20	40	23	40	40
ハラヴェン	204	413	206	430	430
日本	49	94	50	100	100
アメリカス	81	164	75	170	170
EMEA	61	127	71	130	130
アジア・ラテンアメリカ	13	27	10	30	30
フィコンパ/Fycompa	92	193	118	250	250
日本	14	30	19	50	50
アメリカス	45	93	60	120	120
EMEA	30	61	34	70	70
アジア・ラテンアメリカ	4	9	5	10	10
Belvia	21	56	32	50	50
アメリカス	19	39	20	50	50
アリセプト	213	402	192	350	350
パリエット/アシフェックス	140	277	135	240	240

・通期予想の修正箇所には下線を付しています。

・パリエットには、ヘリコバクター・ピロリ除菌用3剤組み合わせバック製剤「ラベキアバック400/800」および「ラベファインバック」の売上収益を含めています。

・2019年4月にジェネリック医薬品事業（エルメッド エーザイ）を譲渡しました。2018年度のジェネリック医薬品はエルメッドエーザイの売上収益です。

* EAファーマの取り扱い製品です。

6. 連結包括利益計算書

	2018年度		2019年度		
	2Q累計	通期	2Q累計	前同比	増減額
四半期（当期）利益	363	665	274	75.3	△ 90
その他の包括利益					
損益に振り替えられることのない項目					
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	43	34	△ 24	—	△ 67
確定給付制度に係る再測定	—	△ 8	—	—	—
小計	43	26	△ 24	—	△ 67
損益にその後に振り替えられる可能性のある項目					
在外営業活動体の換算差額	205	104	△ 203	—	△ 409
キャッシュ・フロー・ヘッジ	1	0	1	52.6	△ 1
小計	207	104	△ 203	—	△ 409
その他の包括利益合計	250	130	△ 227	—	△ 477
四半期（当期）包括利益	613	795	47	7.7	△ 566
四半期（当期）包括利益の帰属					
親会社所有者	576	764	43	7.5	△ 533
非支配持分	37	31	4	9.9	△ 33

7. 連結キャッシュ・フロー計算書

(億円)

	2018年度 2Q累計	2019年度	
		2Q累計	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税引前四半期利益	497	338	△ 159
減価償却費及び償却費	137	165	28
減損損失	41	1	△ 40
運転資本の増減額（△は増加）	△ 49	△ 281	△ 231
利息及び配当金の受取額	21	25	4
利息の支払額	△ 9	△ 5	4
法人所得税の支払額	△ 100	△ 100	△ 0
法人所得税の還付額	14	—	△ 14
その他	△ 51	△ 58	△ 6
営業活動によるキャッシュ・フロー	499	84	△ 415
投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△ 47	△ 71	△ 24
有形固定資産の売却による収入	0	10	10
無形資産の取得による支出	△ 40	△ 239	△ 199
子会社株式売却に係る前受金の受領額	34	—	△ 34
子会社の売却による収入	—	58	58
金融資産の取得による支出	△ 0	△ 10	△ 10
金融資産の売却・償還による収入	8	8	0
小計<資本的支出等（キャッシュベース）>	△ 45	△ 244	△ 199
3カ月超預金の預入による支出	△ 6	△ 1	6
3カ月超預金の払戻による収入	7	11	4
その他	△ 1	△ 2	△ 2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 45	△ 236	△ 191
財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の増減額（△は減少）	△ 114	165	279
長期借入れによる収入	50	—	△ 50
長期借入金の返済による支出	△ 50	△ 400	△ 350
リース負債の返済による支出	△ 5	△ 41	△ 36
配当金の支払額	△ 229	△ 229	△ 0
その他	3	0	△ 3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 345	△ 505	△ 160
現金及び現金同等物に係る換算差額	104	△ 109	△ 213
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	213	△ 765	△ 978
現金及び現金同等物の期首残高	2,705	2,919	214
現金及び現金同等物の期末残高	2,918	2,154	△ 764

フリー・キャッシュ・フロー	454	△ 160	△ 614
---------------	-----	-------	-------

・フリー・キャッシュ・フロー＝（営業活動によるキャッシュ・フロー）－（資本的支出等（キャッシュベース））

<コメント>

- 営業活動によるキャッシュ・フロー
税引前四半期利益が減少したほか、製品売上の増加に伴う売掛金の増加や預り金（米メルク社からの研究開発償還金）の取崩しなどにより運転資本が増加
- 投資活動によるキャッシュ・フロー
子会社の売却による収入が発生した一方、無形資産の取得などにより、資本的支出等が増加
- 財務活動によるキャッシュ・フロー
長期借入金の返済を実施

8. 資本的支出及び減価償却費の状況

(億円)

	2018年度		2019年度		
	2Q累計	通期	2Q累計	増減額	通期予想
資本的支出額（キャッシュベース）	87	276	310	223	580
有形固定資産	47	182	71	24	180
無形資産	40	95	239	199	400
減価償却費及び償却費	137	268	165	28	340
有形固定資産	58	109	87	29	180
無形資産	79	159	78	△1	160

9. 連結財政状態計算書

<資産の部>

(億円、%)

	2018年度		2019年度			
	3月末	構成比	9月末	構成比	前期末比	増減額
資産						
非流動資産						
有形固定資産	1,052	9.8	1,352	13.4	128.5	300
のれん	1,722	16.1	1,673	16.6	97.2	△49
無形資産	981	9.2	1,152	11.4	117.4	170
その他の金融資産	530	4.9	498	4.9	93.9	△32
その他	127	1.2	125	1.2	97.7	△3
繰延税金資産	686	6.4	579	5.7	84.4	△107
非流動資産合計	5,098	47.6	5,377	53.2	105.5	279
流動資産						
棚卸資産	679	6.3	651	6.4	95.9	△28
営業債権及びその他の債権	1,566	14.6	1,641	16.2	104.7	74
その他の金融資産	75	0.7	65	0.6	86.4	△10
その他	168	1.6	181	1.8	107.9	13
現金及び現金同等物	2,864	26.7	2,154	21.3	75.2	△710
小計	5,353	50.0	4,692	46.5	87.7	△661
売却目的で保有する資産	264	2.5	32	0.3	12.0	△232
流動資産合計	5,617	52.4	4,724	46.8	84.1	△893
資産合計	10,715	100.0	10,102	100.0	94.3	△614

<コメント>

■ 資産の部	
(有形固定資産)	IFRS第16号「リース」の適用によるリース負債の認識に伴い、使用权資産が増加
(無形資産)	オレキシン受容体拮抗剤 レンボレキサントに関するパートナーの権利を取得
(繰延税金資産)	IFRIC第23号「法人所得税の税務処理に関する不確実性」の適用により、一部の繰延税金資産とその他の固定負債を相殺表示
(営業債権及びその他の債権)	主に製品売上の増加に伴う売掛金の増加
(現金及び現金同等物)	長期借入金の返済、無形資産の取得による支出、営業債務及びその他の債務の支払いなどに伴う減少
(売却目的で保有する資産)	エルメッド エーザイ譲渡による減少

<資本及び負債の部>

(億円、%)

	2018年度		2019年度			
	3月末	構成比	9月末	構成比	前期末比	増減額
資本						
親会社の所有者に帰属する持分						
資本金	450	4.2	450	4.5	100.0	—
資本剰余金	776	7.2	776	7.7	100.0	0
自己株式	△ 347	△ 3.2	△ 346	△ 3.4	99.8	1
利益剰余金	4,385	40.9	4,402	43.6	100.4	17
その他の資本の構成要素	1,017	9.5	815	8.1	80.1	△ 203
親会社の所有者に帰属する持分合計	6,281	58.6	6,097	60.4	97.1	△ 185
非支配持分	239	2.2	242	2.4	101.3	3
資本合計	6,520	60.8	6,338	62.7	97.2	△ 181
負債						
非流動負債						
借入金	899	8.4	549	5.4	61.1	△ 350
その他の金融負債	45	0.4	336	3.3	747.4	291
引当金	13	0.1	14	0.1	102.1	0
その他	278	2.6	130	1.3	46.9	△ 147
繰延税金負債	3	0.0	2	0.0	58.6	△ 1
非流動負債合計	1,238	11.6	1,031	10.2	83.3	△ 207
流動負債						
借入金	490	4.6	605	6.0	123.5	115
営業債務及びその他の債務	775	7.2	529	5.2	68.2	△ 247
その他の金融負債	416	3.9	374	3.7	89.8	△ 43
未払法人所得税	82	0.8	91	0.9	111.8	10
引当金	179	1.7	187	1.8	104.4	8
その他	911	8.5	947	9.4	103.9	36
小計	2,853	26.6	2,732	27.0	95.8	△ 121
売却目的で保有する資産に直接関連する負債	104	1.0	—	—	—	△ 104
流動負債合計	2,957	27.6	2,732	27.0	92.4	△ 225
負債合計	4,195	39.2	3,763	37.3	89.7	△ 432
資本及び負債合計	10,715	100.0	10,102	100.0	94.3	△ 614

<コメント>

■資本の部 (その他の資本の構成要素)	円高による為替換算差額の減少
■負債の部 (借入金—非流動) (その他の金融負債—非流動) (その他—非流動) (営業債務及びその他の債務) (売却目的で保有する資産に直接関連する負債)	長期借入金の返済 IFRS第16号「リース」の適用により、リース負債が増加 IFRIC第23号「法人所得税の税務処理に関する不確実性」の適用により、一部の繰延税金資産とその他の固定負債を相殺表示 主に未払金の減少 エルメッド エーザイ譲渡による減少

10. 連結四半期業績の推移

1) 損益計算書項目

(億円)

	2018年度				2019年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
売上収益	1,533	1,568	1,571	1,756	1,540	1,453
売上原価	480	440	497	428	429	403
売上総利益	1,053	1,128	1,074	1,328	1,111	1,050
販売費及び一般管理費	506	542	634	601	600	605
販売費	173	197	242	231	247	258
人件費	199	212	260	200	211	208
管理費他	134	133	131	169	142	139
研究開発費	341	309	365	433	294	386
その他の収益	1	9	14	2	48	6
その他の費用	1	9	2	6	7	2
営業利益	206	278	87	290	258	62
金融収益	12	11	14	12	14	9
金融費用	5	5	3	2	3	3
税引前四半期利益	213	284	98	300	270	68
法人所得税	56	77	24	72	49	15
四半期利益	157	206	74	227	221	53
四半期利益の帰属						
親会社所有者	123	203	73	234	217	53
非支配持分	34	3	1	△7	4	△1
四半期包括利益	272	341	△94	275	31	16
EPS (円)	43.0	71.1	25.6	81.7	75.6	18.6

・EPS：基本的1株当たり四半期利益

2) キャッシュ・フロー計算書項目

(億円)

	2018年度				2019年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
営業活動によるキャッシュ・フロー	123	376	106	432	△41	125
投資活動によるキャッシュ・フロー	△16	△28	75	△110	△201	△35
財務活動によるキャッシュ・フロー	△54	△291	△536	90	△342	△163
現金及び現金同等物の期末残高	2,797	2,918	2,486	2,919	2,255	2,154
フリー・キャッシュ・フロー	107	347	75	321	△245	86

・フリー・キャッシュ・フロー＝（営業活動によるキャッシュ・フロー）－（資本的支出等（キャッシュベース））

3) 資本的支出及び減価償却費の状況

(億円)

	2018年度				2019年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
資本的支出額（キャッシュベース）	55	31	60	130	265	45
有形固定資産	29	18	25	110	45	26
無形資産	27	13	35	20	220	19
減価償却費及び償却費	69	68	64	67	83	82
有形固定資産	29	28	24	27	44	43
無形資産	40	40	40	40	39	39

4) 財政状態計算書項目

(億円)

	2018年度				2019年度	
	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末
資産	10,666	10,802	10,260	10,715	10,262	10,102
資本	6,194	6,537	6,243	6,520	6,321	6,338
親会社の所有者に帰属する持分	5,952	6,291	5,997	6,281	6,078	6,097
負債	4,472	4,265	4,017	4,195	3,941	3,763
借入金	1,920	1,639	1,299	1,389	1,299	1,154
親会社所有者帰属持分比率（％）	55.8	58.2	58.5	58.6	59.2	60.4
負債比率（Net DER／倍）	△0.25	△0.31	△0.28	△0.32	△0.24	△0.24

・負債比率（Net DER）＝（有利子負債（借入金）－現金及び現金同等物－3カ月超預金等－親会社保有投資有価証券）÷親会社の所有者に帰属する持分

5) 主力品売上収益の四半期推移

(1) ニューロロジー領域製品

(億円)

	2018年度				2019年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
ニューロロジー領域製品計	453	436	477	408	503	457
メチコパール（末梢性神経障害治療剤）	107	99	99	88	111	106
日本	41	37	42	30	38	35
中国	55	49	48	48	64	61
アジア・ラテンアメリカ	9	10	7	7	7	8
アリセプト（アルツハイマー型、レビー小体型認知症治療剤）	111	103	107	82	100	92
日本	53	44	50	32	41	33
中国	23	26	23	22	28	31
アジア・ラテンアメリカ	31	30	31	27	29	26
リリカ（疼痛治療剤（神経障害性疼痛・線維筋痛症））・日本	71	67	78	67	71	68
イノベロン/Banzei（抗てんかん剤）	48	51	55	50	76	54
アメリカス	40	44	46	43	68	47
EMEA	6	6	7	6	6	6
フィコンパ/Fycompa（抗てんかん剤）	45	47	51	49	60	59
日本	7	7	9	7	10	10
アメリカス	21	23	24	24	30	30
EMEA	15	14	16	16	17	16
アジア・ラテンアメリカ	2	2	2	2	3	3
ルネスタ（不眠症治療剤）・日本	29	27	33	24	33	31
Belvia（肥満症治療剤）	10	11	20	16	18	14
米国	10	9	10	10	11	9
Zebinix（抗てんかん剤）・EMEA	14	14	16	14	16	15
ゾネグラン（抗てんかん剤）	12	11	12	12	12	11
EMEA	10	10	11	10	10	10
その他	8	7	7	5	7	7

・アリセプトのレビー小体型認知症の適応は日本、フィリピン、タイです。

・リリカの売上収益は共同販促収入です。

(2) オンコロジー領域製品

(億円)

	2018年度				2019年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
オンコロジー領域製品計	281	266	339	323	396	390
レンピマ/Kisplyx（抗がん剤）	119	126	189	192	248	258
日本	19	24	31	25	34	35
アメリカス	69	75	109	122	138	145
中国	—	—	17	15	35	36
EMEA	19	18	20	23	30	28
アジア・ラテンアメリカ	11	9	12	8	10	13
ハラヴェン（抗がん剤）	102	102	109	100	109	97
日本	25	24	26	19	26	25
アメリカス	40	41	43	40	37	39
EMEA	30	31	33	33	39	32
アジア・ラテンアメリカ	7	6	7	8	8	2
トリアキシン/シンベンダ（抗がん剤）	20	18	22	15	21	22
その他	40	20	19	16	18	13

11. 株式の状況

1) 株式数・株主数の状況

				2019年9月30日現在
発行可能株式総数	発行済株式の総数	自己株式数	株主数	株主1人当たりの平均持株数
1,100,000,000株	296,566,949株	9,978,468株	59,117名	5.017株

・発行済株式の総数は自己株式数を含めて表示しています。

2) 大株主の状況

			2019年9月30日現在
株主名	持株数	持株比率 (%)	
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	33,414千株	11.66	
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	31,683千株	11.06	
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	19,123千株	6.67	
日本生命保険相互会社	12,281千株	4.29	
株式会社埼玉りそな銀行	7,050千株	2.46	
みずほ信託銀行株式会社退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	5,437千株	1.90	
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口7)	5,050千株	1.76	
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口5)	4,795千株	1.67	
JP MORGAN CHASE BANK 385151	4,239千株	1.48	
公益財団法人内藤記念科学振興財団	4,207千株	1.47	

・株式数は千株未満を切捨てて表示しています。

・持株比率は、発行済株式（自己株式を除く）の総数に対する割合です。

・自己株式は9,978千株（発行済株式の総数に対する所有割合3.36%）であり、議決権がないため表中に記載していません。

・当第2四半期末までに以下の大量保有報告書（変更報告書）が提出されていますが、当第2四半期末の株主名簿で確認できない場合、または保有株式数が上位10位に該当しない場合は、表中に記載していません。なお、（ ）内の保有割合は、自己株式を含む発行済株式の総数に対する割合（切り捨て表示）です。

- ① 株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ他、全4社の共同保有として、16,113千株（5.43%）を2015年7月13日現在で保有（2015年7月21日付変更報告書）
- ② ウェリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピー他、全2社の共同保有として、27,087千株（9.13%）を2015年7月31日現在で保有（2015年8月7日付変更報告書）
- ③ 株式会社みずほ銀行他、全2社の共同保有として、18,900千株（6.37%）を2016年10月14日現在で保有（2016年10月21日付大量保有報告書）
- ④ ブラックロック・ジャパン株式会社他、全11社の共同保有として、18,308千株（6.17%）を2017年8月15日現在で保有（2017年8月21日付変更報告書）
- ⑤ 三井住友信託銀行株式会社他、全3社の共同保有として、15,967千株（5.38%）を2018年12月14日現在で保有（2018年12月21日付変更報告書）
- ⑥ ハンガード・ヘルスケア・ファンドの保有として、18,119千株（6.11%）を2019年3月28日現在で保有（2019年8月15日付変更報告書）
- ⑦ 野村證券株式会社他、全2社の共同保有として、17,993千株（6.07%）を2019年9月13日現在で保有（2019年9月20日付変更報告書）

3) 所有者別所有株式数推移

	2019年		2019年		増減
	3月末	構成比 (%)	9月末	構成比 (%)	
金融機関	132,382千株	44.6	132,689千株	44.7	307千株
金融商品取引業者（証券会社）	11,105千株	3.7	10,220千株	3.4	△885千株
その他の法人	20,625千株	7.0	20,737千株	7.0	112千株
外国法人等	85,038千株	28.7	83,248千株	28.1	△1,789千株
個人・その他	37,368千株	12.6	39,691千株	13.4	2,322千株
自己株式	10,046千株	3.4	9,978千株	3.4	△67千株
合計	296,566千株	100.0	296,566千株	100.0	-

・株式数は千株未満を切捨てて表示しています。

12. 従業員数

1) 連結従業員数

					(人)
	2017年 3月末	2018年 3月末	2019年 3月末	2019年 9月末	
連結期末従業員数	10,452	10,456	10,683	10,712	
日本	5,009	4,914	4,888	4,631	
アメリカス（北米）	1,296	1,240	1,261	1,341	
中国	1,909	1,906	2,069	2,105	
EMEA（欧州、中東、アフリカ、オセアニア）	983	1,022	1,046	1,110	
アジア・ラテンアメリカ	1,255	1,374	1,419	1,525	

2) 個別従業員数

					(人)
	2017年 3月末	2018年 3月末	2019年 3月末	2019年 9月末	
個別期末従業員数	3,246	3,172	3,140	2,942	
生産	459	415	408	359	
研究	878	883	868	843	
販売・管理	1,909	1,874	1,864	1,740	

・期末従業員数は、就業人員数（当社から社外への出向者を除き、社外から当社への出向者を含む）を表示しています。

13. 主要開発品

(1) 神経

開発品コード：E2007 一般名：ペランパネル 製品名：フィコンパ/Fycompa

薬効／作用機序：抗てんかん剤/AMPA受容体拮抗剤			自社品
[概要] グルタミン酸受容体のサブタイプであるAMPA受容体へのグルタミン酸の結合を選択的に阻害します。部分てんかんの併用療法に対して日本、米国、欧州、中国、アジアなど、65カ国以上で承認を取得しています。また、米国では、4歳以上のてんかん患者様の部分発作（二次性全般化発作を含む）に対する単剤療法および併用療法での承認を取得しています。全般てんかんの強直間代発作の併用療法の適応についても、日本、米国、欧州、アジアなど、60カ国以上で承認を取得しています。米国、欧州では、経口懸濁液の承認を取得しています。			
◎ 部分てんかん併用療法	335試験	中国 承認（2019年9月）	経口剤
てんかん小児適応（用法追加）	311試験	日本 申請（2019年1月） 欧州 申請（2019年2月）	経口剤
部分てんかん単剤療法（効能追加）	342試験	日本 申請（2019年1月）	経口剤
細粒剤（剤形追加）	—	日本 申請（2019年1月）	経口剤
レノックス・ガストー症候群（効能追加）	338試験	日米欧 PⅢ	経口剤

開発品コード：ME2125 一般名：サフィナミド 製品名：エクフィナ

薬効／作用機序：パーキンソン病治療剤/モノアミン酸化酵素B阻害剤			導入品（Meiji Seikaファルマ）
[概要] 選択的なモノアミン酸化酵素B（MAO-B）阻害作用により、分泌されたドパミンの分解を抑制してドパミンの脳内濃度維持を助けます。Meiji Seikaファルマが日本における製造販売承認を保有し、当社は日本における独占的販売権と、アジアにおける独占的開発・販売権を保有します。			
パーキンソン病におけるwearing off現象の改善	—	◎ 日本 承認（2019年9月） ◎ 韓国 申請（2019年7月）	経口剤

開発品コード：E2006 一般名：レンボレキサント

薬効／作用機序：オレキシン受容体拮抗剤			自社品
[概要] 睡眠と覚醒の調整に関与するオレキシンの受容体に拮抗することで、覚醒状態を鎮め、自然な睡眠の誘発・維持を期待しています。			
不眠障害	303/304試験	米国 申請（2018年12月） 日本 申請（2019年3月）	経口剤
アルツハイマー病／認知症に伴う不規則睡眠 覚醒リズム障害	202試験	日米 PⅡ	経口剤

開発品コード：BIIB037 一般名：アデュカヌマブ

薬効／作用機序：アルツハイマー病疾患修飾剤/抗Aβ抗体			導入品（Biogen Inc.）
[概要] アデュカヌマブは、リバース・トランスレーショナル・メディシン（RTM）と呼ばれるNeurimmune社のテクノロジー・プラットフォームを用いて作成されたヒト遺伝子組換えモノクローナル抗体（mAb）であり、認知障害の兆候のない健康な高齢者、または進行が異常に遅い認知機能障害のある高齢者から採取した、非特定化B細胞ライブラリーに由来します。Biogen Inc.は、Neurimmune社よりアデュカヌマブを導入しました。アデュカヌマブは、可溶性オリゴマーと不溶性線維などが凝集してアミロイドプラークを形成する形態のアミロイドβ（Aβ）を標的のと考えられています。無益性（Futility）解析の結果により2019年3月に試験が中止されたフェーズⅢ試験に関して、米国食品医薬品局（FDA）との協議のもと、Biogen Inc.は大規模データセットを用いて新たな解析を実施しました。その解析結果を受け、2019年10月、当社とバイオジェン社は新薬承認をめざすことを発表しました。			
◎ 早期アルツハイマー病	ENGAGE/EMERGE 試験	米国 申請準備中 Biogen Inc.と共同開発	注射剤

○：2019年4月以降の進捗、◎：2019年7月以降の進捗

開発品コード：BAN2401

薬効／作用機序：アルツハイマー病疾患修飾剤／抗Aβプロトフィブリル抗体		導入品 (BioArctic AB)		
[概要] アミロイドβ (Aβ) プロトフィブリルに対するIgG1抗体です。神経毒性を呈することが報告されているAβプロトフィブリルを除去することで、アルツハイマー病の進行を抑制することを期待しています。				
早期アルツハイマー病	301試験 (Clarity AD)	日米欧中	PⅢ	Biogen Inc.と共同開発 注射剤

開発品コード：E2027

薬効／作用機序：レビー小体型認知症治療剤／PDE9阻害剤		自社品		
[概要] 選択的なホスホジエステラーゼ (PDE) 9阻害作用により、細胞内のシグナル伝達に重要なサイクリックGMP (cGMP) の分解を抑制し、cGMPの脳内濃度を維持することにより、レビー小体型認知症に対する新たな治療薬になることを期待しています。				
レビー小体型認知症	201試験 (DELPHIA)	日米欧	PⅡ/Ⅲ	経口剤

開発品コード：E2730

薬効／作用機序：抗てんかん剤・神経疾患治療剤／シナプス機能モジュレーター		自社品		
[概要] 活性化状態にあるシナプス機能を選択的に調整する新規作用機序を持つ化合物です。希少てんかんを含むてんかんや、てんかん原性等に対する新たな神経疾患治療薬になることを期待しています。				
てんかん	201試験	米国	PⅡ	経口剤

開発品コード：E2082

薬効／作用機序：抗てんかん剤・神経疾患治療剤／AMPA受容体拮抗剤		自社品		
[概要] グルタミン酸受容体のサブタイプであるAMPA受容体へのグルタミン酸の作用を阻害する次世代AMPA受容体拮抗剤です。てんかんを含む新たな神経疾患治療薬、特に、てんかん原性等に対する治療薬になることを期待しています。				
てんかん	201試験 —	米国 日本	PⅡ PⅠ	経口剤

- ・ E2082に関する全ての臨床試験（日本、米国）を中断しています。

- ◎ エレンベセスタットについて、独立安全性データモニタリング委員会の勧告に基づき、早期アルツハイマー病を対象としたフェーズⅢ試験を中止したため、本表から削除しました。

(2) がん

開発品コード：E7080 一般名：レンパチニブ 製品名：レンビマ/Kisplyx

薬効/作用機序：抗がん剤/キナーゼ阻害剤		自社品			
<p>[概要] 血管内皮増殖因子受容体 (VEGFR) や線維芽細胞増殖因子受容体 (FGFR) に加え、血小板由来増殖因子受容体 (PDGFR)、KIT、RETなどの腫瘍血管新生あるいは腫瘍悪性化に関与する受容体型チロシンキナーゼ (RTK) に対する選択的阻害活性を有する経口投与可能な、自社創出の新規結合型チロシンキナーゼ阻害剤です。甲状腺がんに係る適応で、日本、米国、欧州、アジアなど55カ国以上で承認を取得しています。また腎細胞がん (セカンドライン) のエベロリムスとの併用療法に係る適応で、米国、欧州など50カ国以上で承認を取得しています。なお、欧州における腎細胞がんに係る適応については、製品名Kisplyxを使用しています。さらに、肝細胞がん (ファーストライン) に係る適応で、日本、米国、欧州、中国、アジアなど50カ国以上において承認を取得しています。また、2019年9月、ペムプロリスマブとの併用療法について、子宮内膜がん (セカンドライン以降) に係る適応で米国、オーストラリア、カナダで承認を取得しました。</p>					
◎	進行性子宮内膜がん・セカンドライン (効能追加) (抗PD-1抗体ペムプロリスマブとの併用療法)	111試験	米国 承認 (2019年9月)	Merck & Co., Inc., Kenilworth, N.J., U.S.A. (米メルク社) と共同開発	経口剤
	子宮内膜がん・セカンドライン (効能追加) (抗PD-1抗体ペムプロリスマブとの併用療法)	309試験	日米欧 PⅢ	米メルク社と共同開発	経口剤
	甲状腺がん (効能追加)	308試験	中国 PⅢ	米メルク社と共同開発	経口剤
	腎細胞がん・ファーストライン (効能追加) (抗がん剤エベロリムスまたは抗PD-1抗体ペム プロリスマブとの併用療法)	307試験	日米欧 PⅢ	米メルク社と共同開発	経口剤
	肝細胞がん・ファーストライン (効能追加) (抗PD-1抗体ペムプロリスマブとの併用療法)	LEAP-002 試験	日米欧中 PⅢ	米メルク社と共同開発	経口剤
	メラノーマ・ファーストライン (効能追加) (抗PD-1抗体ペムプロリスマブとの併用療法)	LEAP-003 試験	米欧中 PⅢ	米メルク社と共同開発	経口剤
	非扁平上皮非小細胞肺癌がん・ファーストライン (効 能追加) (抗PD-1抗体ペムプロリスマブとの併用療法)	LEAP-006 試験	日米欧中 PⅢ	米メルク社と共同開発	経口剤
	PD-L1陽性の非小細胞肺癌がん・ファーストライン (効能追加) (抗PD-1抗体ペムプロリスマブとの併用療法)	LEAP-007 試験	日米欧中 PⅢ	米メルク社と共同開発	経口剤
○	子宮内膜がん・ファーストライン (効能追加) (抗PD-1抗体ペムプロリスマブとの併用療法)	LEAP-001 試験	日米欧中 PⅢ	米メルク社と共同開発	経口剤
○	非小細胞肺癌がん・セカンドライン (効能追加) (抗PD-1抗体ペムプロリスマブとの併用療法)	LEAP-008 試験	日米欧 PⅢ	米メルク社と共同開発	経口剤
○	膀胱がん (シスプラチン不適合)・ファーストライ ン (効能追加) (抗PD-1抗体ペムプロリスマブと の併用療法)	LEAP-011 試験	日米欧 PⅢ	米メルク社と共同開発	経口剤
	非小細胞肺癌がん (RET転座) (効能追加)	209試験	日米欧ア PⅡ	米メルク社と共同開発	経口剤
	胆道がん (効能追加)	215試験	日本 PⅡ	米メルク社と共同開発	経口剤
	固形がん (効能追加) (子宮内膜がん、腎細胞がん、 頭頸部がん、尿路上皮がん、非小細胞肺癌がん、メラ ノーマ) (抗PD-1抗体ペムプロリスマブとの併用療法)	111試験 —	米欧 PⅠ/Ⅱ 日本 PⅠ	米メルク社と共同開発	経口剤
	メラノーマ・セカンドライン (効能追加) (抗PD-1抗体ペムプロリスマブとの併用療法)	LEAP-004 試験	米欧 PⅡ	米メルク社と共同開発	経口剤
	固形がん (効能追加) (トリプルネガティブ乳がん、 卵巣がん、胃がん、大腸がん、膠芽腫、胆道がん) (抗PD-1抗体ペムプロリスマブとの併用療法)	LEAP-005 試験	米欧 PⅡ	米メルク社と共同開発	経口剤
	肝細胞がん (効能追加) (抗PD-1抗体ペムプロリスマブとの併用療法)	—	日米 PⅠ	米メルク社と共同開発	経口剤
	肝細胞がん (効能追加) (抗PD-1抗体ニボルマブとの併用療法)	—	日本 PⅠ	小野薬品と共同開発	経口剤

○：2019年4月以降の進捗、◎：2019年7月以降の進捗

開発品コード：E7389 一般名：エリブリン 製品名：ハラヴェン

薬効／作用機序：抗がん剤／微小管ダイナミクス阻害剤	自社品			
[概要] クロイソカイメン由来のハリコンドリンBの合成類縁体で、微小管の伸長を阻害し細胞周期を停止させることで抗腫瘍活性を示します。日本、米国、欧州、中国、アジアなど、70カ国以上で乳がんに係る承認を取得しています。また、日本、米国、欧州、アジアなど、60カ国以上において脂肪肉腫（日本では悪性軟部腫瘍）に係る適応追加の承認を取得しています。				
◎ 局所進行性または転移性乳がん	304試験	中国	承認（2019年7月）	注射剤
膀胱がん（効能追加）	702試験	米欧	PI/II	注射剤
トリプルネガティブ乳がん （抗PD-1抗体ペムブロリズマブとの併用療法）	218試験	米国	PI/II	米メルク社と共同開発 注射剤
HER2陰性乳がん（PEGPH20との併用療法）	219試験	米国	PI/II	Halozymeと共同開発 注射剤
リボソーム製剤（剤形追加）	—	日欧	PI	注射剤
○ リボソーム製剤（剤形追加） （抗PD-1抗体ニボルマブとの併用療法）	—	日本	PI/II	小野薬品との共同開発 注射剤

開発品コード：MORAb-003 一般名：ファルレッツマブ

薬効／作用機序：抗がん剤／ヒト化抗葉酸受容体 α モノクローナル抗体	自社品			
[概要] 葉酸受容体 α （FRA）に対するヒト化IgG1抗体です。FRAが過剰発現しているがん腫に対して抗腫瘍効果を期待しています。				
ブラチナ感受性卵巣がん	O11試験	日米欧	PII	注射剤

開発品コード：MORAb-004

薬効／作用機序：抗がん剤／ヒト化抗エンドシアリンモノクローナル抗体	自社品			
[概要] Tumor endothelial marker 1（TEM-1）／エンドシアリンに対するヒト化IgG1抗体です。エンドシアリンを発現しているがん腫に対して抗腫瘍効果を期待しています。				
メラノーマ	201試験	米欧	PII	注射剤

開発品コード：MORAb-009 一般名：amatuximab

薬効／作用機序：抗がん剤／キメラ型抗メソセリンモノクローナル抗体	自社品			
[概要] メソセリンに対するキメラ型IgG1抗体です。メソセリンを発現しているがん腫に対して抗腫瘍効果を期待しています。				
中皮腫	003/201試験	米欧	PII	注射剤

開発品コード：E7777

薬効／作用機序：抗がん剤／インターロイキン2受容体結合部分とジフテリア毒素の融合タンパク製剤	自社品			
[概要] インターロイキン2（IL-2）の受容体結合部分とジフテリア毒素の融合タンパク製剤であり、細胞表面上のIL-2受容体と特異的に結合し、細胞内に移行したジフテリア毒素がタンパク質合成を阻害します。				
末梢性T細胞リンパ腫、皮膚T細胞性リンパ腫	205試験	日本	PII	注射剤

開発品コード：E7438 一般名：タゼメトスタット

薬効／作用機序：抗がん剤／EZH2阻害剤	導入品（Epizyme）			
[概要] ヒストンメチル基転移酵素を構成するたんぱく質の一つであるEZH2は、エピジェネティック関連酵素として、発がんプロセスにおいて重要な役割を担っていると考えられています。E7438は、Epizyme社が独自の創薬プラットフォームから創製した、ファーストインクラスの経口投与可能な低分子化合物であり、EZH2の阻害を介した抗腫瘍効果が期待されています。当社は本剤の日本における開発・商業化権を保有しています。				
B細胞性非ホジキンリンパ腫	206試験	日本	PII	経口剤

○：2019年4月以降の進捗、◎：2019年7月以降の進捗

開発品コード：H3B-6545

薬効／作用機序：抗がん剤／ER α 阻害剤				自社品
[概要] 経口投与可能な選択的エストロゲン受容体 α (ER α) 共有結合型アンタゴニストであり、野生型および変異型 ER α をともに阻害します。エストロゲン受容体陽性／HER2 受容体陰性の乳がんに対する抗腫瘍効果を期待しています。				
乳がん	101試験	米欧	PI/II	経口剤

開発品コード：E7090

				自社品
固形がん	—	日本	PI	経口剤

開発品コード：H3B-6527

				自社品
肝細胞がん	—	米欧	PI	経口剤

開発品コード：H3B-8800

				自社品
血液がん	—	米欧	PI	経口剤

開発品コード：E7386

				共同創出品 (PRISM Pharma)
固形がん	—	日欧	PI	経口剤
○ 固形がん (レンビマとの併用療法)	—	日本	PI	経口剤

開発品コード：MORAb-202

				自社品
固形がん	—	日本	PI	注射剤

開発品コード：E7130

				共同創出品 (ハーバード大学)
固形がん	—	日本	PI	注射剤

(3) 消化器

開発品コード：AJM300 一般名：カロテグラストメチル

薬効／作用機序：潰瘍性大腸炎治療剤／ α 4インテグリン阻害剤			自社品	
[概要] α 4インテグリンを阻害することにより、リンパ球の接着・浸潤を防ぐ新規作用機序を有します。経口 α 4インテグリン阻害剤として世界ではじめての製品化をめざしています。				
潰瘍性大腸炎	—	日本 PⅢ	EAファーマとキッセイ薬品の共同開発	経口剤

開発品コード：E6007

薬効／作用機序：潰瘍性大腸炎治療剤／インテグリン活性化阻害剤			自社品	
[概要] インテグリン活性化阻害による白血球全般の接着・浸潤を抑制する新規作用機序を有する化合物です。科学技術振興機構の産学共同実用化開発事業として、EAファーマが筑波大学と共同で製品化をめざしています。				
潰瘍性大腸炎	201試験	日本 PⅡ	EAファーマが開発	経口剤

開発品コード：E3112

			自社品	
肝臓疾患	—	日本 PⅠ	EAファーマが開発	注射剤

(4) その他

開発品コード：E6011

薬効／作用機序：抗フラクタルカイン抗体			自社品	
[概要] エーザイグループのカン研究所において創製された、世界初のヒト抗フラクタルカインモノクローナル抗体です。関節リウマチや炎症性腸疾患をはじめとする炎症性疾患の血管内皮細胞に発現し、炎症反応を惹起するフラクタルカインを中和することによる抗炎症作用を期待しています。				
関節リウマチ	201/202試験	日本 PⅡ		注射剤
クローン病	ET2試験	日欧 PⅡ	EAファーマが開発	注射剤

開発品コード：E6742

			自社品	
自己免疫疾患	—	米国 PⅠ		経口剤